

農業競争力強化農地整備事業
(農地整備事業【経営体育成型】)

土地改良事業計画概要書

(区 画 整 理)

県 地 所 事	区 在 業 主	名 名 地 体	岩 大 花 岩	瀬 卷 手	手 川 市 県
------------------	------------------	------------------	------------------	-------------	------------------

土 地 改 良 事 業 計 画 概 要 書

— 目 次 —

第1章	目的	1
第2章	地域の所在及び現況	1
第1節	地域の所在	1
第2節	現況	2
第3節	水利状況	4
第4節	営農状況	4
第5節	地域環境の概況	5
第3章	基本計画	6
第1節	計画の要旨	6
第4章	工事又は管理の要領	7
第1節	工事の施工計画	7
第2節	管理の要領	7
第3節	予定工期	7
第5章	換地計画の要領	7
第1節	換地計画樹立の必要性	7
第2節	換地計画樹立の基本方針	7
第3節	土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積	8
第4節	非農用地の換地方法	9
第6章	費用の概算	10
第7章	効用	11
第8章	他の事業との関係	11
第9章	計画概要図	12

第1章 目 的

本地区は、岩手県の中央に位置する花巻市の中心市街地より北方約10kmの花巻市石鳥谷町に位置している。地区の西側を東北自動車道、中央を主要地方道盛岡和賀線、東側を県道盛岡・石鳥谷線がそれぞれ南北に走っている。また、一級河川薬師堂川が地区の北側を、一級河川葛丸川が地区の南側をそれぞれ西から東へ流れている。

本地区の農地は、一部が昭和30年代～50年代までの団体営事業で20a～30a区画に整備されているが、それ以外の区画については10a程度の小区画となっている。

道路状況は、県道及び市道が周辺に位置し流通の面は比較的恵まれているが、耕作道は幅員が狭小であり、大型農業用機械の導入に支障をきたしている状況である。

地区内の用排水路は、一部装工されているが、多くは用排兼用の土水路であり、安定的な用水確保ができず維持管理に多大な労力を費やしているほか、水路底が浅いため排水不良をきたし、作目の多様化が困難な状況である。

これらを解決するため、本事業により高生産性ほ場を整備し、営農や維持管理等の省力化を図ると共に、担い手への農地集積を推進し、農業経営の安定化を図るものである。

地 積

(単位：ha)

現況地目 市町村名	水 田	普通畑	樹園地	計	道水路等	その他	合 計
花巻市	195.3	3.1	—	198.4	15.7	1.0	215.1

第2章 地域の所在及び現況

第1節 地域の所在

岩手県花巻市石鳥谷町大瀬川、北寺林 地内

第2節 現 況

第1項 地形、地質及び土壌

本地区は、傾斜部は北から南へ1/20程度の勾配であり、標高は182m～158m程度、平野部は西から東へ1/70程度の勾配であり、標高は164m～109m程度である。

地質は水積による非固結堆積岩及び残積による固結堆積岩、洪積世堆積による非固結火成岩で、土壌は灰色土壌粘土構造型（F50）、灰褐色土壌強粘土構造型（G60）、黒色土壌粘土腐植型（H72）、黄褐色土壌強粘土型（I81）、礫層土壌斑鉄盤層型（J90）となっている。

第2項 気 象

（1）一般気象

（岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 令和6年3月版）

観測所名	花巻気象官署	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備 考
観測期間	H25～R4年	5月～8月	9月～4月		
平均気温（℃）		20.5℃	6.3℃	11.0℃	
降水量	平均（mm）	608.9mm	748.8mm	1,339.2mm	
	基準年（mm）	—mm	—mm	—mm	
降水日数	平均（日）	45日	88日	132日	
	基準年（日）	—日	—日	—日	
根雪期間		—月—日～—月—日	—日間		
無霜期間		5月7日～10月17日	164日間		
最多風向	S	最大風速 （風向）	19.3 m/s （N）	最多風向発生時期 — 最大風速発生年月日 2019年10月13日	

※最大風速のデータは気象庁のホームページによる。

(2) 特殊気象

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 令和6年3月版)

観測所名	1位			2位			3位			4位			5位			備考
花巻気象官署																
観測期間	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
M34年～R4年																
最大日雨量 (mm)	202	T9. 8. 9	1 336	201	H19. 9. 17	1 323	165	S57. 8. 30	1 80	164	S23. 9. 16	1 77	160	S32. 8. 5	1 66	
最大時間雨量 (mm)	65	S32. 8. 5	1 77	61	H26. 9. 10	1 57	51	H19. 9. 10	1 26	47	S47. 8. 3	1 19	37	S42. 6. 5	1 8	
最大4時間雨量 (mm)	119	S32. 8. 6	—	73	S47. 8. 3	1 12	70	H17. 6. 27	1 9	68	S33. 9. 18	1 8	67	H29. 9. 12	1 7	
最大3日連続雨量 (mm)	321	T9. 8. 10	1 716	233	S22. 9. 15	1 68	217	H19. 9. 18	1 43	211	M43. 9. 3	1 36	210	S54. 8. 6	1 35	
最大連続旱天日数 (日)	56	S18. 6. 28	—	53	S21. 7. 10	—	42	S53. 6. 26	—	39	S48. 6. 23	1 298	39	S3. 7. 18	1 298	

第3節 水 利 状 況

第1項 用水状況

本地区の用水は、葛丸ダムを水源とし一級河川葛丸川に設置された葛丸頭首工から取水する国営山王海農業水利事業及び県営かんがい排水事業大瀬川地区で整備された幹線用水路を経由して導水される。

地区内の小用水路は一部装工されているが、多くは用排兼用の土水路であり、安定的な用水確保ができず維持管理に多大な労力を費やしている。

第2項 排水状況

本地区の排水は、地区内水路を経由し、一級河川葛丸川と一級河川薬師堂川へ排水されるほか、地区東端は地区外の排水路を経由し一級河川北上川または準用河川大沢田川、普通河川鶴泉川へ排水される。

地区内の小排水路は用排兼用となっており、水路底が浅いため排水不良を来し、作目の多様化が困難な状況である。また、一部装工されているが多くは土水路のため、維持管理に多大な労力と経費を費やしている。

第4節 営農状況

専業別農家数及び平均経営耕作面積

2020農林業センサス

戸 数			項 目	専 業	第一種 兼 業	第二種 兼 業	計	一戸 当 た り 平 均 経 営 耕 地 面 積	田	普通畑	樹園地	その他	計	地 域 指 定 等
専 兼 業 別	花 巻 市	戸 数	-	戸	-	戸	-	戸	2.25 ha	0.29 ha	0.07 ha	0.00 ha	2.61 ha	農 振 S45.3
		割 合	-	%	-	%	-	%	86.2 %	11.1 %	2.7 %	0.0 %	100 %	過 疎 -
	本 地 区	戸 数	-	戸	-	戸	-	戸	- ha	- ha	- ha	- ha	- ha	山 振 -
		割 合	-	%	-	%	-	%	- %	- %	- %	- %	- %	特農指定 -

経営農用地広狭別農家数

2020農林業センサス

区 分	農 家 総戸数	経 営 農 用 地 広 狭 別 農 家 数									耕地の分散状況		一戸当たり	
		0.5ha 未満	0.5ha ～ 1.0ha	1.0ha ～ 1.5ha	1.5ha ～ 2.0ha	2.0ha ～ 3.0ha	3.0ha ～ 5.0ha	5.0ha 以上			自給的 農家	一戸当たり 団地数	団地当たり 面 積	平均耕地面積
花巻市	4,618	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1,311	－	a －	a 261

第5節 地域環境の概況

本地区は、一級河川葛丸川、一級河川薬師堂川沿いに広がる水田地帯で、地区西側は奥羽山脈による森林が広がっている。

地区内には「環境省レッドリスト」及び「いわてレッドデータブック」に登載されている希少種の生育・生息が確認されており、花巻市田園環境整備マスタープランにおいて、地域と調和した整備を行うとともに生態系の保全に配慮するとされている。

第3章 基本計画

第1節 計画の要旨

本地区の農地は、一部が20a～30a区画に整備されてるが、それ以外の区画については小区画となっており、耕作道の幅員が2m～3m程度と狭小で、大型農業用機械の導入が困難であることから、効率的な営農の展開が不可能な状態となっている。また、地区内の用排水路は維持管理等で一部装工されているものの、用排兼用の土水路となっており維持管理に多大な労力を費やしている。

このため本事業では、平坦部で標準区画100～50a、傾斜部で標準区画30aのは場を整備する。また、農道はL=15.6kmを幅員5～4mの敷砂利舗装、用水路はL=33.9kmをパイプラインに整備、排水路はL=27.2kmを鉄筋コンクリート二次製品に整備するとともに、暗渠排水A=148.1haを併せて整備し乾田化を図る。

これらの整備により、営農及び維持管理等の省力化を図ると共に、担い手への農地集積を一体的に推進して、農業経営の安定化を図るものである。

環境との調和への配慮として、地区内で生息が確認された保全対象種については、有識者委員の指導・助言を得ながら、工事施工前に地区に隣接した生息環境が類似している箇所を利用し移植・移動する。また、景観を阻害しないように現地形に沿った区画設計とし、農村景観への影響を最小限にする。

事業計画一覧表

種 別		事 業 量	摘 要
区 画 整 理	整 地 工	186.3 ha	表土扱い A=186.3 ha
	道 路 工	15,608 m	砂利道 B=5.0 (4.0) m、B=4.0 (3.0) m、拡幅+砂利道 B=5.0 (4.0) m
	用水路工	33,851 m	管水路（塩ビ管）75～450mm
	排水路工	27,150 m	鉄筋コンクリート排水フリューム 300×300～1000×800
暗渠排水工		148.1 ha	吸水渠H=0.6m φ50～60mm、集水渠 H=0.6m φ50～65mm

第4章 工事又は管理の要領

第1節 工事の施工計画

1. 工事は、全て県営事業による請負工事とする。
2. 施工は、農業土木工事共通仕様書による他、特記仕様書による。

第2節 管理の要領

施工後の諸施設の管理は、農業用道路及び排水路は花巻市、用水施設は山王海土地改良区が行う。

第3節 予定工期

令和7年度～令和19年度

第5章 換地計画の要領

第1節 換地計画樹立の必要性

本事業により実施する区画整理がより生産性の高い農業の実現に資するよう、担い手への集積、集約化を見据えた換地計画を樹立する必要がある。

第2節 換地計画樹立の基本方針

第1項 従前地の地積の基準

換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。

但し、上記の日から3ヶ月以内に土地家屋調査士が測量した実測図に、隣接所有者の承諾書を添付して申出があった場合は、その申出地積とする。

第2項 農用地集団化の方針

区分 換地区	地帯別グループ 別団地の設定	個 人 別 換 地 の 方 法		
		位 置 の 選 択 方 法	一戸当り目標団地数	区画畦畔の取り扱い
大瀬川	営農グループ別 集団化	予め特殊地の選定を行った後、各人の従前の土地が最も密集した位置を基本とするが、育成すべき経営体の経営農用地を中心として農用地集積が図れるように配慮する。	1～2団地	固定畦畔

第3項 清算の方法

比例地積清算方式

第3節 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積

(単位：ha)

用 途	公 用 公 共 用 地				一般国有地	合 計
	国有地	県有地	市町村有地	計		
道路			5.7	5.7		5.7
水路			9.2	9.2		9.2
計			14.9	14.9		14.9

岩手県花巻市石鳥谷町大瀬川、北寺林 地内

第4節 非農用地の換地方法

(単位：㎡)

換地区名	区 分	種 類	非農用地区域の位置の概略	面 積 (㎡)	換地の手法	換地取得 予 定 者	そ の 他
大瀬川		道路用地	岩手県花巻市石鳥谷町大瀬川 地内	1,088	特別減歩見合創設換地	花巻市	
計				1,088			

第6章 費用の概算

単位：千円

事業名 項目	総事業費		負担内訳				備考
	費目	金額	国費（50%）	県費（30%）	地元負担（20%）		
					市町村（10%）	農家（10%）	
農業競争力強化農地整備事業 （農地整備事業【経営体育成型】） （区画整理）	事業費	6,321,000	3,160,500	1,896,300	632,100	632,100	
	費目	金額	国費（0%）	県費（100%）	地元負担（0%）		
					市町村（0%）	農家（0%）	
	工事雑費	-	-	-	-	-	
	事務費	-	-	-	-	-	
	計	6,321,000	3,160,500	1,896,300	632,100	632,100	

第7章 効 用

区 分 \ 項 目	全 体 (千円)		区画整理 (千円)		備 考
	便 益 額	所 得 額	便 益 額	所 得 額	
農業生産向上効果（作物効果）	85,257	24,776	85,257	24,776	
農業経営向上効果（営農経費）	290,861	309,843	290,861	309,843	
農業経営向上効果（維持管理）	△ 10,496	4,262	△ 10,496	4,262	
農業の持続的発展に関する効果 （耕作放棄防止効果）	51	-	51	-	
農村の振興に関する効果 （非農用地等創設効果）	528	-	528	-	
多面的機能の発揮に関する効果 （水源かん養効果）	79,019	-	79,019	-	
その他効果 （国産農産物安定供給効果）	19,529	-	19,529	-	
合 計	464,749	338,881	464,749	338,881	総費用総便益比＝ 1.15

第8章 他の事業との関連

区分	事 業 名	事業主体	受益面積	工 期	事業費（百万円）	前年度までの 進 捗 率	事業との関連
異種	国営かんがい排水事業 山王海葛丸地区	国	3,787 ha	R6～R15	13,500	0 %	基幹用水

第9章 計画概要図

別 添

大瀬川地区 計画概要図

受益面積 A=186.3ha

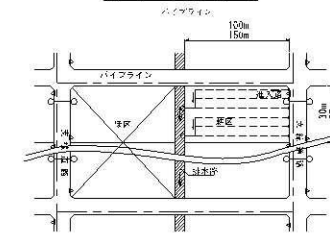


凡 例	
	地区界
	水田
	畑
	用水単独受益 (水田)
	計画道路A 5.0 (4.0)
	計画道路B 4.0 (3.0)
	計画道路C (農付路幅)
	高速道路
	県道 (舗装、地区外)
	市道 (舗装、地区外)
	計画排水路
	配水路 (既設)
	計画用水路 (バイブライン)
	既設幹線バイブライン
	既設用水路
	既設排水路
	既設幹線用排水路
	暗渠排水
	河川

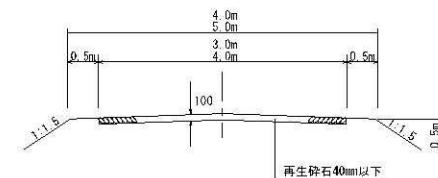
県内位置図



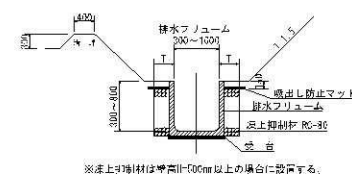
標準断面図



支線道路工

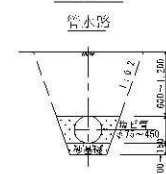


小排水路工



※排水路材料は等価100mm以上の場合に設置する。

用水路工



吸水深断面図



集水渠断面図



暗渠排水

